

【5/14（日）】日本文化学部国語国文学科・久保蘭愛准教授が日本語学会論文賞を受賞されました。

ロシア資料を対象とした鹿児島方言史を研究する久保蘭愛准教授が、「鹿児島方言における過去否定形式の歴史」（『日本語の研究』第12巻4号、2016年10月）の論文で日本語学会論文賞を受賞しました。

18世紀前半から19世紀半ば、鹿児島方言の過去否定を表す言葉についての変化を論じました。また、ロシアの文字が表す音と日本語の表記を分析して、過去否定の形式について、その語源が従来の認識とは異なるものであると結論づけました。

導き出した結論や論の実証性、地方語史の研究に新たな可能性を切り拓いたことなどが高く評価されました。



- ・ <https://www.jpling.gr.jp/kaiin/gakkaisyo/ronbunsyo/#ronbunsyo2016>

（日本語論文学会 HP に 2016 年度日本語学会論文賞の授賞理由が掲載されています。）

- ・ http://www.aichi-pu.ac.jp/event/2017/event_20170512_1285.html

（5月31日（水）に本学で開催されるあいち国文の会で久保蘭准教授が講演します！）